

令和2年度堺市精神保健福祉審議会議事録（書面開催）

1. 日時及び場所

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面開催とした。

2. 会議の成立

委員17名へ会議資料を送付し意見等（意見無しを含む）を頂戴したことにより、堺市精神保健福祉審議会条例第6条の規定により会議が成立した。

3. 委員

秋田委員、東委員、位田委員、上島委員、小倉委員、河口委員、川邊委員、木村委員、黒田委員、高野宮委員、中野委員、中村委員、野田委員、萩原委員、松井委員、山田委員、山本委員

4. 事務局

精神保健課、こころの健康センター、障害施策推進課、障害者支援課

5. 資料

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 資料1 | 令和元年度堺市精神保健福祉関係業務実績について |
| 資料2 | 令和2年度堺市精神保健福祉関係新規・拡充業務について |
| 資料3 | 令和元年度精神科在院患者調査報告書〔堺市版速報値〕 |
| 資料4 | 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場の設置について |
- 別紙1：精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）
別紙2：精神疾患の医療体制の構築（第7次医療計画）について

6. 委員意見及び事務局回答

- 令和2年度堺市精神保健福祉審議会（書面開催）委員意見・回答一覧
- 参考資料①
- 参考資料②
- 参考資料③

令和２年度堺市精神保健福祉審議会（書面開催） 委員意見・事務局回答一覧

番号	所属等	委員名	対象資料	意見の内容	事務局回答
1	大阪弁護士会	位田委員	資料 1	行動制限（隔離、身体拘束）の実施数のデータがほしい。	参考資料①「堺市内精神科病院入院患者の状況」をご参照ください。
				長期入院が問題となっているため、堺市内精神科 5 病院における入院期間のデータがほしい。	堺市内精神科病院の在院期間別入院者数については、参考資料②「令和元年度在院患者調査報告書（堺市版）」の巻末資料 4 をご参照ください。
			資料 3	状態像区分の説明がほしい。	参考資料②「令和元年度在院患者調査報告書（堺市版）」の巻末資料 7 をご参照ください。本区分・基準については、平成5年1月に社団法人日本精神病院協会が実施した在院患者調査における区分・基準をもとに大阪府にて作成しております。
2	堺市民生委員児童委員 連合会副会長	小倉委員	資料 1	土日にも障害福祉サービスの居宅介護が受けられたらよい。	利用者の状況等に合わせ、支給決定が認められた場合には、土日に居宅介護の利用が可能です。
			資料 2	こころの電話相談について、就労されている方の相談時間確保のため延長できればよい。	開庁時間に準じた時間帯で電話相談を開設しています。自殺予防月間（9月、3月）には、昼休み時間帯である、12：00～12：45にも、電話相談を開設しています。また、これまでに緊急事案（地震や社会的事件）により社会的に不安が強くなった場合は、祝祭日の開設も行っています。常時の時間延長は現状は難しいところですが、今後も柔軟に対応し、市民のこころの健康に寄与できるよう、努めてまいります。

令和２年度堺市精神保健福祉審議会（書面開催） 委員意見・事務局回答一覧

番号	所属等	委員名	対象資料	意見の内容	事務局回答
3	家族SST交流会 世話人代表	川辺委員	資料1	メンタルヘルスセミナーをオンライン開催でもよいので実施してほしい。	今年度は「働き方改革&職場環境を整える！」をテーマに精神科医によるセミナーを11月5日に開催しました（堺市は共催者）。受講形態として、会場での受講とオンラインでの受講のいずれかを選択できる形式としました。
				関西大学との取組がよかったので継続してほしい。	全国的にも若年層に向けた自殺対策の取り組みが必要とされる中、自殺対策、ゲートキーパーについて、大学で講義をすることは、今後、大学生が社会人として活躍する中で困難や悩みに直面した際に自らSOSの発信や、周りの人たちが発信するSOSへの感度を高めていくことにつながると考えております。また、一人でも多くの方にゲートキーパーとしての役割を担っていただくことは、堺市の自殺対策の推進にも寄与されるため、今後も積極的に連携を取って参ります。
				ひきこもりサポーター派遣の具体的な様子を教えてほしい。	ひきこもり当事者が、相談を開始しひきこもりから回復する過程の中で、自身のひきこもりの体験を活かし、ひきこもり支援事業（グループワーク）にピアの視点をもった支援者として活動に携わっています。ひきこもりサポーター養成研修を受講し登録後、事業実施について企画立案から実施まで職員とともに行うほか、個別支援のサポートを担うこともあります。
				教育研修事業のうち新任者研修について、家族会講師が固定しているので、幅広い人選にしてほしい。	当センターの研修は、地域の精神保健福祉に従事する支援者にとって、支援技術のスキルアップにつながるものであり、多くの講師からご講義いただきたく考えております。ご意見について、積極的に対応いたします。貴重なご意見、ありがとうございます。

令和2年度堺市精神保健福祉審議会（書面開催） 委員意見・事務局回答一覧

番号	所属等	委員名	対象資料	意見の内容	事務局回答
4	西九州大学教授	黒田委員	資料1	経年変化も含めた自殺死亡数（率）等のアウトカムについての統計を示してほしい。	参考資料③「自殺者数・自殺死亡率の推移（人口動態統計）」をご参照ください。
				介護給付、訓練等給付の実績を評価するため、障害福祉計画における計画内容をあわせて示してほしい。 グループホーム入居者数は少ないのではないか。	グループホームの入所者数の現状は、障害福祉計画における利用見込量と概ね同水準となっています。
			資料3	在院期間別の入院者数、医療保険別の入院者数、といった統計をとってほしい。これらの統計から入院先（地域）、在院期間、保険別との関係を分析してほしい。地域移行が進まない要因を多角的に分析してほしい。	在院期間別の入院者数については、参考資料②「令和元年度在院患者調査（堺市版）」の7ページにお示しております。 また、医療保険（生活保護の有無）別の入院者数については、調査項目に含まれておりますので、報告書作成用に堺市民データを府より取得する際に追加項目として取得し、今後の調査報告に反映したいと考えております。
			資料4	地域包括ケアシステムについては地域住民の理解が必須であり、「施設コンフリクト」が生じている現状を変えなければ機能しない。「協議の場」については審議会だけでなく、住民の参加も必要ではないか。	各委員からのご意見を参考とさせて頂き、「協議の場」に関する具体的な運営方法については、引き続き協議して参ります。
			その他	「月刊ヒューマンライツNo.386」という冊子を事務局を通じて委員の皆様へ配布してほしい。当該冊子は、昨年度の審議会で議論になった「施設コンフリクト」をテーマに特集されたものであり、参照すべき資料と考えている。	黒田委員より委員皆様分の冊子をお預かりいたしましたので、事務局を通じて配布させていただきます。

令和２年度堺市精神保健福祉審議会（書面開催） 委員意見・事務局回答一覧

番号	所属等	委員名	対象資料	意見の内容	事務局回答
5	(副) 朋志美会 サービス 管理責任者	高野宮委員	資料4	教育に関して、学生に精神障害の正しい理解を普及させるために、まずは先生の理解が必要である。そういった普及啓発を専門家が行えるよう教育委員会に働きかけてほしい。	精神障害への理解や啓発に関する、具体的な手法については、引き続き検討して参ります。
6	総合相談情報 センター所長	萩原委員	資料1	今年3月、兵庫県の精神科病院での虐待事件が発覚したところであるが、堺市では閉鎖病棟での処遇について工夫した調査をしているのか。	精神科病院実地指導は、精神保健指定医、精神保健福祉士、事務職員の多職種体制で行っており、病棟ラウンド、入院患者への聴取、職員への聴取、精神保健指定医による実地審査及びカルテチェックなどを通して多角的に入院患者の人権に配慮した適正な医療が提供されているか調査しています。
			資料4	協議の場を設置するとのことだが、これまでの審議会の時間を延長した形とするのか。	各委員からのご意見を参考とさせて頂き、「協議の場」に関する具体的な運営方法については、引き続き協議して参ります。
				委員に精神保健福祉士の参加を希望する。	各委員からのご意見を参考とさせて頂き、「協議の場」に関する具体的な運営方法については、引き続き協議して参ります。

令和2年度堺市精神保健福祉審議会（書面開催） 委員意見・事務局回答一覧

番号	所属等	委員名	対象資料	意見の内容	事務局回答
7	さかい ピアサポネット 副代表	山田委員	資料1	電話コンサルテーションとはどういう意味か教えてほしい。	精神科合併症支援システムにおける電話コンサルテーションとは、精神科合併症患者（精神疾患と身体疾患を併せ持つ患者）が二次救急病院や救命救急センターで身体的な処置を行う際に、身体科医師から精神科医師に対して行われる精神症状への対応等の精神科領域に関する相談のことを指します。
			資料2	依存症には具体的にどんな種類があるのか示してほしい。	依存症は大きく分けて「物質依存」「プロセス依存」の2種類に分けられます。「物質依存」の主なものとして、「アルコール依存」「薬物依存」があり、精神に依存する物質を原因とする依存症です。また、「プロセス依存」の主なものとして、「ギャンブル等依存」があり、特定の行為や過程に依存することと言います。2019年5月にはWHOの国際疾病分類（ICD-11）において、ゲーム依存（ゲーム障害）が新たに追加されています。
			資料3	速報値は見ても意味がないので来年から止めてよい。	本資料は、例年、審議会開催時期に堺市版の在院患者調査報告書の完成が間に合わないことから、調査概要部分を速報値としてまとめ、会議資料としております。 速報値でお示ししている数値は、報告書の数値と同一であり、暫定の数値ではございません。 本資料は、審議会内容に関連する資料となっておりますので、引き続き情報共有させて頂きたいと考えております。

令和2年度 堺市精神保健福祉審議会議事録

令和2年12月発行

堺市健康福祉局健康部 精神保健課

堺市配架資料番号 1-C8-20-0301